

## 英語の勉強の基本は「音読練習」と「書き取り練習」

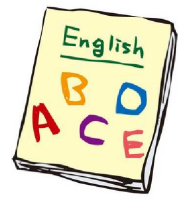
— 「音読練習」と「書き取り練習」なくして英語の勉強なし—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：開倫塾では、一度解いた英語を試験問題も含め「音読練習」「書き取り練習」することを奨励しているようですね。なぜですか。

A：(1)英語は「語学」ですので、「これはこのようなことか」とよく「理解」した英語は、「音読練習」と「書き取り練習」を繰り返して「身に着ける」、「定着させる」ほうがよいからです。



(2)学校や開倫塾の授業と自学自習で「ああ、これはこのようなことか」と頭の中で「理解」した英語も、「声を出して読む練習(音読練習)」や「手を使い書き取る練習(書き取り練習)」をしないと、「身に着ける」「定着させる」ことは難しいからです。

(3)「音読練習・書き取り練習なくして、英語の勉強なし」といえます。

○英語だけでなくドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語などの外国語も、授業や自学自習で「理解」した内容を、「音読練習」や「書き取り練習」をしないで「身に着ける」「定着させる」ことはとても難しいといえます。授業や自学自習で英語以外の外国語を学ぶときにも、よく「理解」できたら、「音読練習」や「書き取り練習」を行って、すべて「身に着ける」「定着させる」ことをおすすめします。



Q：「音読練習」はどのように行ったらよいのですか。

A：(1)「音読練習」とは、授業や自学自習で「これはこのようなことか」と意味や内容がよく「理解」できたら、学校の教科書や開倫塾のテキストを「スラスラと、よく読めるようになるまで、何回も繰り返し声を出して読む練習をすること」です。



(2)「スラスラと、よく読めるようになるまで、何回も繰り返し読む練習をすること」がポイントです。

(3)「音読練習」をしたほうがよいのは、「学校の教科書」や「開倫塾のテキスト」だけではありません。学校や開倫塾で使っている「問題集」や「まとめ教材」、一度解いたすべての英語のテスト(定期試験、模擬試験、実力テスト、単元テスト)、通信添削やラジオ講座の問題やテキスト、ノート、意味調べノート、英検問題集や英語の参考書などです。

○とにかく、一度勉強して「ああ、これはこのような意味・内容か」と「理解」した英語はすべて、その直後に「スラスラと、よく読めるようになるまで、音読練習を繰り返し、すべて身に着ける、定着させること」です。



Q：「スラスラと、よく読めるようになるまで音読練習を繰り返す」のは、何のためですか。

A：(1)英語を「身に着ける」「定着させる」ためです。

(2)ですから、「音読練習」をしていて、大切だと思われる英語は、「何も見ないで、スラスラと言えるまでにする」、つまり、「暗唱」することをおすすめします。

(3)大切な英語の表現や文章は、口をついて出てくるまで「暗唱」することをおすすめします。



Q：「書き取り練習」はどのように行ったらよいのですか。

A：(1)「音読練習」をして、スラスラとよく読めるようになったら、「何も見ないで書いてみる」ことをおすすめします。

(2)例えば、「book(本)」や「pen(ペン)」などは、何回か書く練習をすれば書けるようになりますが、「interesting(おもしろい)」や「difficult(難しい)」など少し長い単語は、何十回も「書き取り練習」をしないと、なかなか覚えられません。

(3)そこで、よく書けない語句や文章があったら、「書き取り練習」、つまり、「正確に書けるようになるまで、書く練習をすること」をおすすめします。

○「書き取り練習」をするときには、「音読」、「読みながら」、「手を動かすこと」をおすすめします。

Q：いつごろまで「音読練習」や「書き取り練習」をしたらよいのですか。

A：(1)「音読練習」や「書き取り練習」をしたことがあるのは、英語を学び始めた1～2年ほどで、中学2・3年生になったら、また、高校生になったら全くしたことがない人が多いのではないかと思います。これでは、いくら長い年月をかけて英語を勉強しても身に着きません。

(2)英語の勉強をしている間は、高校生になっても大学生になっても、ずっと「音読練習」や「書き取り練習」をし続けることが大切です。

(3)最も「音読練習」や「書き取り練習」をすべきは、高校入試・大学入試・英検など、試験直前の受験生です。受験生は、受験勉強としてその日に解いた「英語の問題」や「過去問」のすべてを、1～2時間かけて「音読練習」や「書き取り練習」をしてみてください。すべて身に着く(定着する)ので、得点や偏差値が急上昇します。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)開倫塾では、小学生から大学受験生まで、英語の授業が終了したら、その日に学んだ内容の「音読練習」や「書き取り練習」を終えてから帰宅することを、おすすめしています。



(2)自宅学習として、「音読練習」や「書き取り練習」をすることが難しいと思う皆様は、授業終了後、開倫塾で自学自習として、必ず「音読練習」や「書き取り練習」をしてから帰宅してください。

(3)開倫塾の英語の授業の日には、少し早めに来て、「音読練習」や「書き取り練習」を繰り返してください。

○学校の教科書も、「音読練習」や「書き取り練習」を必ず行ってくださいね。

— 11月13日記 —